

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	38557
事業名	飲食店の未来応援費					
評価担当課	所属名	経)産業振興部 商業・経営支援				
	課長名	高橋 忠浩	担当者名	西出 友成	電話番号	011-211-2372
施策名	主	-				
	副					
アクションプラン	○ 対象 ● 対象外		戦略ビジョン	○ 対象 ● 対象外		
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費					
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理					
事業内容	実施形態	○ 直営 ○ 一部委託 ● 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他				
	目的	短期	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の長期化に伴い、経営上大きな影響を受けた市内飲食店の売上回復や早期の資金繰りの改善につなげる。			
		長期	需要喚起を図り、市内飲食店の中長期的な事業継続のための一助とする。			
	取組内容	購入型クラウドファンディングを活用し、市内飲食店で利用できる前売りのプレミアム付き食事券を発行する。また、クラウドファンディング手数料やプレミアム分を札幌市が負担する。				
	実施結果	クラウドファンディングを実施し、14,765人から447,853千円の支援を集めるとともに、プレミアム分として134,356千円をプラスした合計582,209千円を参加飲食店(1,360軒)に支援した。				
事業実施における工夫点	令和3年度から、パー・スナック、カラオケ店といった業態や大企業を支援対象に追加したほか、イラストを活用した店舗募集チラシの発行、支援金を多く集めるためのノウハウや事例に係るオンライン説明会を実施した。					
対象者	市内飲食店、市民	開始	令和2年度	終了	令和4年度	
関連法令・条例・要綱等	なし					
他都市の状況	なし					

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費	378,964	200,000	199,079	320,000
うち特定財源	378,964	200,000	199,079	0
人工	0.2	0.2	0.2	0.2
人件費	1,440	1,440	1,440	1,440
計(事業費+人件費)	380,404	201,440	200,519	321,440
事業費の内訳	令和3年度決算	決算額:199,079千円 <内訳> 委託費(広告宣伝費等の事務費):19,910千円 負担金(プレミアム分、クラウドファンディング手数料):179,169千円		
	令和4年度予算	予算額:320,000千円 <内訳> 委託費(広告宣伝費等の事務費):40,000千円 負担金(プレミアム分、クラウドファンディング手数料):280,000千円		

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	集めた資金の総額			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	847,530千円	450,000千円	447,853千円	700,000千円	
活動指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
成果指標1	指標名	参加飲食店の売上を網羅的に把握することが困難なため			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
成果指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	1,360軒の飲食店が参加し、14,765人から447,853千円の支援を集めることができ、概ね目標とした資金を集めることができた。また、一般的な商品券事業と異なり、利用前に集まった支援額を先に店舗に送金するスキームとした結果、事業目的である市内飲食店の早期の資金繰りの改善に貢献する取組となったと考えている。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	事務局を設置し、飲食店の参加登録から市民等による支援までを円滑に実施することができた。また、一般的な商品券事業と異なり、販売所の設置が不要であり、クラウドファンディング手数料及び広告宣伝費等の必要最低限の事務費により事業を実施し、概ね目標とした資金を集めることができたことから、適切な事業規模であったと考えている。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	購入型クラウドファンディングを活用した前売り食事券の販売は、販売窓口の設置を要せず、感染対策として合理的である。また、一般的な商品券事業と異なり、利用前に集まった支援額を先に店舗に送金するスキームとすることで、事業目的である市内飲食店の売上回復・資金繰りの改善を早期に実現できたことから、適切な事業手法であったと考えている。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	参加した飲食店及び支援者の数は過去最多となり、事業の対象者である市内飲食店及び市民のニーズに応えられた事業であったと評価する。			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応		<input checked="" type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映
今後の改善点	支援が集まらなかった店舗の数は概ね横ばい(R2:49店舗、R3:57店舗)であり、幅広い飲食店に支援を行き渡らせる点が課題となった。また、引き続き、クラウドファンディングにハードルを感じる飲食店もいることから、店舗募集の際に、登録作業のフォローを行う必要があると考えている。				
前回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	店舗登録代行などのフォローを引き続き行うとともに、多様なメディアを活用した広告のほか、支援状況の芳しくない店舗についてSNSを活用して積極的に周知を行った。		見直し効果額 (前年度)	0	千円
今回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	R2年度に引き続き、概ね目標とした支援金を集めることができ、事業目的である市内飲食店の売上回復・資金繰りの改善を早期に実現できたため。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	○ 改善 ○ 現状維持 ● 休止・廃止 R4年度廃止事業のため無し。			
	予算	○ 拡充 ○ 現状維持 ● 縮小 ○ その他 R4年度廃止事業のため無し。		見直し効果額	0 千円